四國新聞　2013年（平成25年）6月6日（木曜日）

あの人　この人

「市民結婚式」を演出

高松市内の栗林公園や玉藻公園などを舞台に「市民結婚式」を総合演出している藤田徳子さん(40)＝同市瓦町＝。「高松の名所で結婚式を挙げることは、地域活性化のカンフル剤にもなる」と、さらなるプロデュースに意欲を見せる。

きっかけは、15年ほど前に出会った岡山、長崎生まれのカップル。県内の観光名所での挙式が希望で、その時、新郎新婦の個性をより強く表現したいと思ったという。

市民結婚式第1弾の舞台は、約350年の歴史を誇る栗林公園。「開放すると若い世代にも名所をアピールできる」と行政との交渉を繰り返し、昨春、2組の夫婦が生まれた。構想から13年目での実現だった。

「自分自身を育ててくれた郷土の人たちの前で認めてもらう。これは結婚式の原点だと思う」。新しいことをしているという意識はなく、地域の絆を結婚式という場で再認識してほしいと心から願う。「結婚式は文化。とにかく新郎新婦の思いを大切にしたい」。

「結婚式に出席するために来県する新郎新婦の友人らには、香川の魅力を伝えたいですね」と語り、県内観光の振興などにも熱い視線を投げ掛けている。

「市民結婚式は地域活性化のカンフル剤」と話す藤田さん